

ふれあいKAWACHI ネット

第64号 平成31年2月
発行：河内教育事務所
ふれあい学習課
後援：宇河地区生涯学習研究会



社会教育主事リレートーク

教えてあなたの学区の「ヒト」「モノ」「コト」

宇都宮市立姿川第二小学校

手塚かおり



姿川第二小学校の「ヒト」、地域コーディネーターを紹介しします。私は、地域連携教員として、人材バンク作りやその体制作りをしてきました。この活動をここまでやってこられたのは、地域コーディネーターのお力添えのおかげといつも感謝しています。お名前は、飯村志保美さん、大島悦子さん、野口敬子さんです。学習支援ボランティア活動や読み聞かせボランティア活動が円滑にかつ充実した活動となるよう、一緒に活動内容や問題点などを話し合い、少しずつ改善を図ったため、4年間で現在の体制になり、円滑に活動ができるようになりました。今年度は、ボランティアの活動内容を保護者や地域の方々知ってもらうための「パネル作り」を行いました。よいパネルを作ろうと何度も話し合いを重ねて、作成しました。そんなコーディネーターさん3名は、本校の、そして私の、心強い「応援団」です。

教えてあなたの学区の

「ヒト」「モノ」「コト」

宇都宮市立古里中学校

瀬下洋一



我が古里中学校区が誇るお宝は「ヒト」です。谷内会長、仲山・小西両コーディネーターが運営する『古里中地域協議会』の皆様こそがお宝なのです。と言うのも、本校では保護者の負担軽減を図るために、PTAを執行部だけにし、組織の構成をミニマムにしています。その分、他校で行っている専門部の仕事を地域協議会の皆さんが行ってくださいます。

また、通常の学校支援活動以外に「図書館」「宮チャレ」「リース作り」のような人手がいる活動については、逐次ボランティアを募り、必要な支援を必要ときにしっかりと行ってくださるので、学校運営の視点からも大変ありがたい存在です。

これからも、地域協議会の皆様と共に、地域を支える次世代の子ども達を育てていきたいです。

地域連携教員等研修を開催しました

地域連携教員と地域教育コーディネーターの更なる連携により、地域資源を活用した教育活動の充実を図るため、地域連携教員研修兼地域教育コーディネーター研修兼第3回生涯学習研究会研修を開催しました。

今年度は「学校と地域の協働～地域の特性を生かして～」をテーマに、とちぎボランティアNPOセンター主任研究員の小針協子氏を講師に迎えました。受講者は協働に関する講話を聞いた上で、自校の強みや、弱みから強みに変えるための方策について積極的に意見交換を行いました。各班が集約した充実した活動を行う際のキーワードとして、「連携(コミュニケーション)」「周知」「人との関わり」「活動に対する考え方」などがありました。

来年度は、これらの内容を基に研修を進めてまいりますので、引き続き研修への積極的な参加をお願いいたします。



12月10日(月)河内庁舎

県内児童館の体験活動から学びました

～河内地区ふれあい学習ネットワーク～

今年度の「河内地区ふれあい学習推進会議」では、宇都宮市と上三川町の放課後子ども教室関係者や行政担当者等を含めた8名を委員に迎え、「放課後子ども教室の更なる活発化と活動者のネットワークづくり」をテーマに会議を進めてきました。その成果発表として、「河内地区ふれあい学習ネットワーク」を栃木県子ども総合科学館主催「児童館フェア」で開催しました。多くの家族連れと放課後子ども教室関係者がブースを訪れ、ストロービーズプレスレット作りを楽しんでいました。また、委員の皆様は県内児童館職員との



2月17日(日)栃木県子ども総合科学館

の工作や体験活動についての情報交換等を行い、今後の取組につながる有意義な時間としていました。

ふれあい学習に関する情報をお待ちしています。

生涯学習に関すること、学校と地域の連携・協働に関すること、社会教育主事（有資格者）として頑張っている〇〇さん等の情報をお寄せください。